

第15回日本精神保健・予防学会学術集会

「ニーズとエビデンスに基づく早期支援」



開催日時 ←

2011/12.3-4

開催場所 ←

東京 ベルサール九段
東京都千代田区九段北1丁目8-10
http://www.bellesalle.co.jp/bs_kudan

会 長 岡崎 祐士 (東京都立松沢病院院長)

副 会 長 飛鳥井 望 (財団法人 東京都医学総合研究所副所長)

参加費 / 会員 5,000 円・非会員 7,000 円・学生 3,000 円(学部学生のみ)

- ◆特別講演 (第2日目 12月4日(日) 13:45~14:45 予定)
「英国における早期支援の発展過程と当事者・家族のニーズ」
演者 David Shiers イングランド早期介入国家プログラム共同代表
- ◆教育講演 (第1日目 12月3日(土) 16:05~17:05 予定)
「小児・思春期の発達と個体・環境の相互作用 ~2つの発達コホート研究の経験から~」
演者 Louise Arseneault 王立ロンドン大学精神医学研究所社会・遺伝・発達精神医学センター
- ◆シンポジウム 1 (第1日目 12月3日(土) 10:30~12:15 予定)
「当事者・家族のニーズから早期支援の在り方を考える」
- ◆シンポジウム 2 (第1日目 12月3日(土) 14:20~16:05 予定)
「初回エピソード精神病の早期支援・治療のエビデンスと実践」
- ◆シンポジウム 3 (第2日目 12月4日(日) 10:30~12:15 予定)
「ARMSの若者への支援:実践力の向上と普及をめざして」
- ◆シンポジウム 4 (第2日目 12月4日(日) 14:45~16:30 予定)
「早期発見・早期支援に生物学的研究が果たす役割」
- ◆ワークショップ 1 (第2日目 12月4日(日) 10:45~12:15 予定)
「病初期の家族を支えるための支援技術入門」
- ◆ワークショップ 2 (第2日目 12月4日(日) 14:45~16:15 予定)
「早期精神病の若者への認知行動療法入門」

※ワークショップにつきましては、定員各50名・事前予約制・参加費別途1,000円とさせていただきます。
詳細は下記ホームページにてご確認ください。

大会事務局:東京都文京区湯島3-31-5 YUSHIMA3315ビル3階アクセスブレイン内

TEL:03-3839-5032 FAX:03-3839-5035 E-mail:jseip15@accessbrain.co.jp

日本精神保健・予防学会HP <http://www.jseip.jp/>